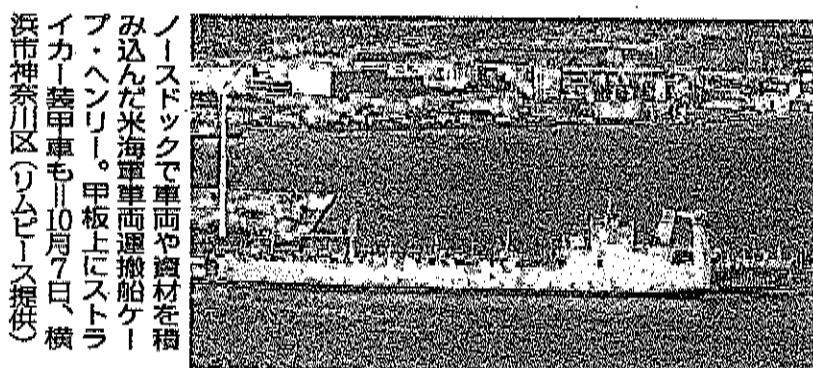


米陸軍が兵たん強化



米陸軍がインド太平洋地域で、大規模な対中國軍事作戦を可能にするための兵站（へいたん）・輸送支援体制を強化しています。さまざまな領域の戦闘を一括りに実施する米陸軍の「マルチドメイン（多領域）作戦」を遂行するため、日本や韓国に備蓄する軍事物資を大量・迅速に投入する最前線基地で、日本を利用しようとしています。

横浜・沖縄・ハワイを拠点に

洋陸軍は同演習を兵員や物資の「受け入れ・駐留・作戦準備・前方展開・戦力統合」と日本くの部隊展開のための「オペレーション・バスウェイズ」の一部（9月26日付、米陸軍ニュース）と位置づけました。

事前備蓄を使い

オペレーション・バスウェイズは、対中國を想定した大規模軍事作戦を継続的に支援する兵站部隊を広範囲・大規模に配置する構想です。数千人不及ぶ陸軍部隊の輸送・移動、陸軍事前集積備蓄（APS）を運用する演習となりました。米太平

制をつくるものだ。

APSは米陸軍の作戦に必要な兵器や物資を迅速に投入するために大量備蓄するもの。アジア、中東、欧州の地域統合軍などに7個が編制されています。

印度太平洋地域ではAPSの車、神奈川県内の横浜ヘーブル（ほりゅう）に指揮所や野戰病院の資材、車両などを備蓄しています。22年2月に米・フィリピン演習を皮切りに、米本土から派遣された米海軍車両運搬船レッド・クラウドが、物資を搭載し海上を航行しながら、いつでも軍事作戦に投入できるAPS3としてインド太平洋地域に初めて展開。兵站支援体制の強化が進んでいます。

（リバビース提供）
市神奈川区（リバビース提供）

ノースドックで

ントン州を出発した際のタイでの多国間演習、4月の米・比合同演習でも資材の積み降ろしをした車両運搬船ケープ・ヘンリーが、OS23を前後してノースドックに入港し装甲車や物資の積み降ろしを行いました。

今年4月からノースドックで編制中の「浪成揚陸艇中隊」も初参加。ノースドック配備のLCU2000級大型汎用（ほんよう）揚陸艇が沖縄から奄美大島へ自衛隊の車両や米軍のハイマースなどを輸送しました。

た。ハワイの陸軍は、昨年11月の日米合同演習「キ 站支援船（「US」）が豪陸軍の一
ーン・ソーラ23」からは、バー 戰車を輸送しました。
ジニア州の混成揚陸艇中隊がノ しCICO、「JS」は自衛隊が編
ースドックのLCCUを使いつひ 成を予定している海上輸送群も
つひとつ、オーストラリアでの多 装備を予定し、来年度予算概算
国際演習でハイマースや車両な 要求に3箇分の一つ徳田が盛り
どを輸送。インドネシアでの多 込まれています。

空前の大軍拡が暮らし命脅かす

日本平和委千坂純事務局長の話

物資の積み降ろしを行いました。
今年4月からノースドックで
編制中の「護成揚陸艇中隊」も
初参加。ノースドック配備の
LCU2000級大型汎用（ほ
んよう）揚陸艇が沖縄から奄美
大島へ自衛隊の車両や米軍の
ハイマークなどを輸送しました。